

「平成28年度前期 学校評価アンケート」の考察

1 学力の向上

(1) 保護者

- 「お子さんは、進んで学習し、ノートも上手にまとめていると思いますか。」の問いでは、肯定的な意見が約60%でした。お子さんの学習意欲やノートの取り方を詳しく見ていただき、誠に有難うございます。
これまで以上に、ノート指導を徹底することにより、学力定着・学力向上を目指して参ります。是非、参観日以外の日にも、お子さんの授業の様子をご参観ください。お待ちしております。
- 「お子さんは、進んで家庭学習をしていますか。」の問いでは、肯定的な意見が約40%という厳しい評価をいただきました。
その日の授業・次の日の授業との関連を常に意識することにより、必要感のある家庭学習の出し方を工夫して参ります。また、その子に応じた家庭学習の量や質にも配慮していきたいと考えています。

(2) 児童

- 「進んで考えたり話し合ったりしている」では、肯定的な意見が約80%でした。また、「進んで家庭学習をしている」では、肯定的な意見が約80%でした。
児童の学習意欲を認めながら、さらなる向上を目指して指導・支援を徹底して参ります。

2 心の教育の重視

(1) 保護者

- 「進んで身の回りの整理・整頓」をしていると感じている方は、約30%という厳しい評価をいただきました。
学校と家庭が今以上に連携して、「整理・整頓の習慣化」を図って参りましょう。視覚的に訴えていくことが大切です。我々大人も、進んでお手本を示して参りましょう。
- 「いじめや問題行動に対して、適切な指導をしている」という問いでは、肯定的な意見が約50%でした。また、「よくわからない」という意見も約25%ありました。
これまで以上に、児童一人ひとりとのふれあいの機会を増やしていくことにより、学校生活が充実していけるよう支援して参ります。また、児童が各家庭で楽しい学校生活について話すことができるよう環境づくりにも配慮していきます。

(2) 児童

- 「進んで身の回りの整理・整頓」をしていると感じている児童は、約70%でした。我々大人が、本気度を見せることにより、児童の意識を変えていくことが大切です。
- 児童の約75%が、「悩みや思いをゆっくりと聞いてくれる」と応えています。
これからも、100%を目指して、心のゆとりを大切にしていきたいと考えています。

3 体力・安全の充実

(1) 保護者

- 「早寝・早起きをしている」という問いでは、肯定的な意見が約70%でした。
早起きは、生活のリズムを作る上でもとても重要です。発達段階に沿って睡眠時間等について、機会を捉えて指導していきたいと思えます。
- 「安全に気をつけて、学校生活を送っている」と思っている方は、約85%でした。学校では、下校の態度や廊下歩行について引き続き指導を徹底していきます。

(2) 児童

- 「早寝・早起きをしている」「安全に気をつけて登校・ろうかの右側歩行」については、約80%～約85%近い児童ができていると応えています。

4 連携・協働の推進

(1) 保護者

- 「保護者や地域の方々と連携して、教育活動をしている」という問いでは、肯定的な意見が約85%でした。
開かれた学校づくりを推進していくことにより、地域・家庭との連携・協働を密にしていることに高い評価をいただき、誠に有難うございます。これからも、児童の開かれた学習環境づくりに努めていきたいと考えています。

(2) 児童

- 「保護者や地域の方々と一緒に活動することが多い」という問いでは、肯定的な意見が約70%でした。
児童も実感できるように、連携・協働の仕方を工夫していきたいと考えています。保護者の皆様からのアイデアも取り入れて参りたいと思えます。